

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-16		受託設計・工事監理事業						
	□支援部門								
主管課	道路課	関連課	世界遺産登録推進担当、産業振興課、文化財課、学校施設課等						
分野名	道路整備								
目標 (目標値)	道路・河川・下水道関連施設以外の公共工事に係る事務効率の向上及び経費削減								
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備 考				
	人 口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世 帯 数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯					
	事業の対象者数								
運営資源 状 況	決算値(千円)	0	0	0					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	0	0	0					
	人員配置数	2.0	1.0	1.2					
	人件費(千円)	17,849	8,689	11,055					
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	17,849	8,689	11,055					
	市民1人当 りの経費(円)	101	49	63					
	対象者1人 当りの経費(円)								
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒								
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
受託設計・工事監理事業の達成率	○	目標値							
◎目標を達成 ○目標に向かって前進		実績値							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止									
受託設計・工事監理事業	0千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	□A	■B	□C	□D	□E
	事業の概要	道路・河川・下水道関連施設以外の公共工事に係る事務効率の向上、経費の削減を図る。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	委任工事について、担当課は専門知識が低いと、その調整に時間を要する。 また、委任工事の実施時期や次年度の概算要求が一定期間に集中するため、その対応に苦慮した。
課題解決のための取組	
未解決の課題	本来の道路業務に携わりながら、他部署の技術的な相談及び概算見積りなどの業務を行っているため、十分な対応が図れない状況にある。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性	○		 C	課長等名 道路課担当課長 吉野 正弘
		③有効性	○			
		④公平性	○			

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
受託設計・工事 監理事業	主な個別事業	受託設計業務及び工事監理業務	0	0	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
	主な個別事業				☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
	主な個別事業				☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
	主な個別事業				☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
	主な個別事業				☐ 適切 ☐ 見直し余地あり